

環境経営学会シンポジウム ☆ エコプロダクツ2019同時開催 ☆

気候変動『適応』は必須 ～気候非常事態宣言の意味するもの～

日時：2019年12月7日(土)13:30～16:30 会場：東京ビッグサイト会議棟1階 102会議室
共催：認定特定非営利活動法人環境経営学会、国際航業株式会社、サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク(NSC)
協賛：環境監査研究会、サステナビリティ日本フォーラム(Sus-FJ)

【資料集】

主催者挨拶&講演①：「気候変動『適応』は必須 気候非常事態宣言の意味するもの」

環境経営学会会長、NSC共同代表幹事

後藤 敏彦

講演②：「世界的に拡大する気候非常事態宣言と日本の状況」

環境経営学会特別顧問、東京大学名誉教授

山本 良一

講演③：「サステナブルな都市計画の例・コペンハーゲン ～気候非常事態宣言の後の目指すべき方向性の参考として～」

国際基督教大学4年

阪上 結紀氏

講演④：「なぜ気候変動への適応は必須化か」

環境経営学会理事、適応研究委員長、国際航業(株)SDGs/気候変動戦略研究所長

前川 統一郎

パネル・ディスカッション〔未来社会のためのトランスフォーメーション〕

☆Fridays for Future Tokyo (FFFT) オーガナイザー、立教大学4年

宮崎 紗矢香氏

☆長崎県壱岐市 SDGs 未来課課長

小川 和伸氏

☆福岡県大木町 町長

境 公雄氏

☆環境経営学会幹事 適応研究委員会(シナリオプランニング・分析)

巢山 廣美